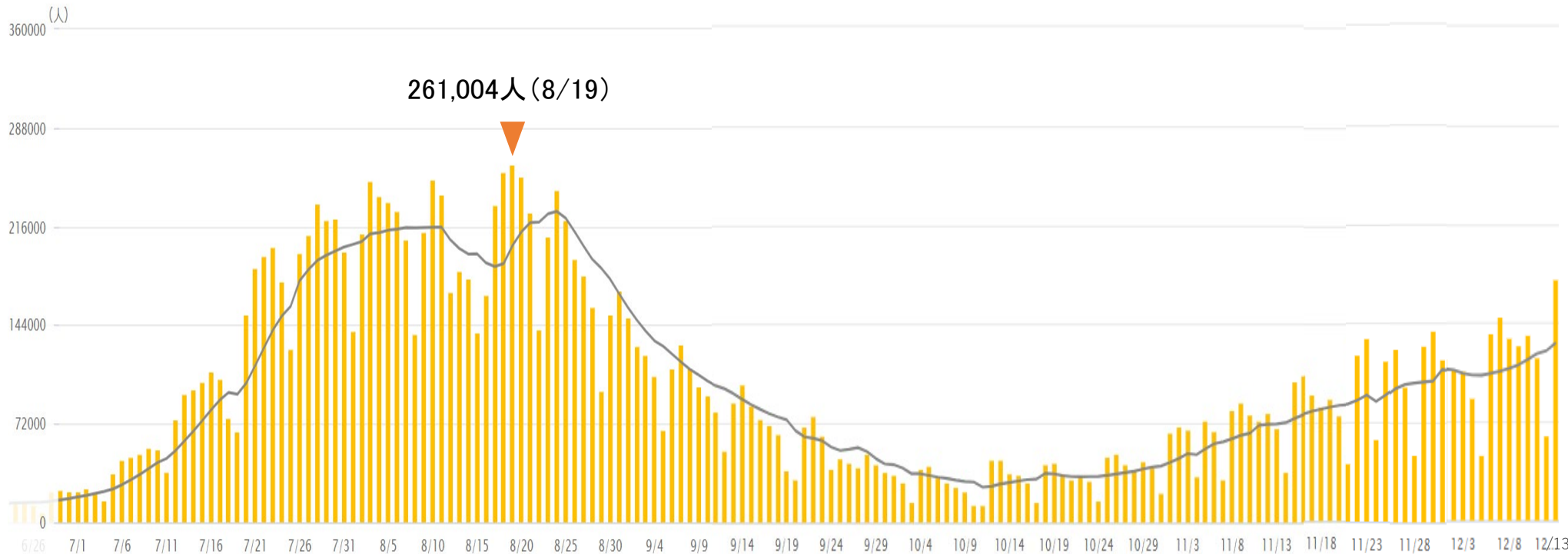


(2) ワクチン接種について

今夏以降の日本国内の感染者数（厚労省まとめ）



※折れ線グラフはその日までの1週間の平均値

(出典)NHK特設サイト「新型コロナウイルス」

官邸ホームページの接種実績（最新：12月13日）

これまでの総接種回数：**359,292,694**回（令和4年12月13日公表）※1

増加回数：**+1,082,002**回（令和4年12月12日比）

（うちオミクロン株対応ワクチン接種：**+1,066,613**回）

オミクロン株対応ワクチンの接種回数※2

全体		うち高齢者※3	
回数	接種率	回数	接種率
33,236,925	26.4%	15,201,200	42.3%

接種回数別の内訳※2

	全体		うち高齢者※3		うち小児接種※4		うち乳幼児接種※5	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
総接種回数	359,292,694	—	141,405,203	—	3,820,394	—	80,786	—
うち1回以上接種者	104,467,940	81.4%	33,272,082	92.6%	1,712,244	23.4%	66,867	1.5%
うち2回接種完了者	103,042,864	80.4%	33,188,064	92.4%	1,632,427	22.3%	13,919	0.3%
うち3回接種完了者	84,726,045	67.3%	32,658,788	90.9%	475,723	6.5%	0	0.0%
うち4回接種完了者	51,632,832	—	29,252,147	—				
うち5回接種完了者	15,423,013	—	13,034,122	—				

オミクロン株対応ワクチンに関する総理発言

① 岸田総理大臣会見(令和4年9月6日)

年末年始に備えて、山場となる10月から11月にかけて、接種券の配布、会場確保など、1日100万回を超えるペースの態勢を整備して、ワクチン接種を加速してまいります。

② 岸田総理大臣 衆議院本会議答弁(令和4年10月6日)

過去二年、年末年始に新型コロナの感染拡大の波が到来したことを踏まえ、若者を含め、年末までに希望する全ての対象者がオミクロン株に対応した新型ワクチンの接種を完了できるよう、自治体と連携して接種体制を整備することとしております。

③ 岸田総理大臣会見(令和4年12月10日)

これから年末年始、感染が拡大しやすい時期を迎えます。体制を整備し、加速してきたワクチン接種は1日100万回を超えました。国民の皆様には、御自身や大切な方を守るため、引き続き早期のワクチン接種をお願いいたします。また、寒い時期ではありますが、換気をうまく行っていただくなど、感染対策に万全を期すようお願いいたします。国民の皆様、是非共にこの年末年始を乗り越え、来年は平時の生活を全面的に取り戻そうではありませんか。

「年末年始の感染対策についての考え方」

(令和4年12月9日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言)

- 新型コロナウイルスの新規感染者数については、短期的な予測では、地域差や不確実性はあるものの、全国的に増加が継続すると見込まれている。また、日本は欧米諸国と比べて自然感染者の割合が低いこと、今後、免疫の減衰や免疫逃避能のある株への置き換わりなどにより、まだ多くの感染者が発生し、保健医療への負荷が高まる可能性がある。
- 社会経済活動を維持しながら、医療のひっ迫を招かないようにするために、この年末年始の様々な活動は実施しながら、次の3点の感染対策をポイントとするべきである。

(1) オミクロン株対応ワクチンの早期接種

オミクロン株対応ワクチンは従来型ワクチンを上回る重症化予防効果、発症予防効果や感染予防効果が期待されている。社会経済活動を維持するためにワクチン接種は重要である。冬は帰省や受験など大切な時期であり、オミクロン株対応ワクチンの年内の接種を推進することが必要である。

(2) 同時流行や感染拡大が生じた場合の医療ひっ迫防止

略

(3) 十分な換気の実施等

略